

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員と地域おこし協力隊員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 護わかやま ぎも

効果的に肥料を与えましょう!!

野菜は、種類によって養分吸収の特性が違います。生育初期に多く吸収するもの、生育期間中にコンスタントに吸収するもの、生育後期に多く吸収するものなどのグループに分けられます。効果的に肥料を与えて、高品質・高収量を目指しましょう。

野菜の肥料の効かせ方のタイプ

①スタートダッシュ型

(先行逃げ切り型)

【肥料の施用】
▼基肥を主体にして、生育の後半からはチッソを効かさなくてよい。

【主な野菜の種類】

ホウレンソウ、小カブ、レタス、チンゲンサイ、コマツナ、シユンギクなど

②コンスタント型(肥効持続型)

【肥料の施用】

▼基肥は肥効の長もちする緩効性肥料を与えます。

▼追肥は少量ずつ回数を多く、肥切れをさせないようにします。

【主な野菜の種類】

※つるばけ…つるばかりが伸びて実などの成りが悪くなること。
※葉ばけ…葉ばかりが茂って実などの成りが悪くなること。

キュウリ、トマト、ナス、ピーマン、ネギ、ツルナシインゲン、オクラ、セロリなど

③ラストスパート型(尻上がり型)

【肥料の施用】

▼基肥は控えめに施用し、生育の中期から後半にかけて追肥で生育の調整をします。

【主な野菜の種類】

カボチャ、スイカ、シロウリ、トウガン、ゴボウ、ダイコン

④「①」と「②」の中間型

【肥料の施用】

▼基肥を主体に、やや長持ちする有機質肥料などを与えます。

▼生育後半までは肥切れさせず、追肥は控えめに与えます。

【主な野菜の種類】

キャベツ、ハクサイ、タマネギ、ナガイモなど

⑤「②」と「③」の中間型

【肥料の施用】

▼基肥は控えめに、追肥は早めにと与えます。

【主な野菜の種類】

アスパラガス、スイートコーン、エンドウマメ、イチゴなど

問い合わせ

農業振興課 農業振興係
0824・73・1132

地域で「生き生き」 獣害対策その一歩先へ!

地域おこし協力隊 草谷 夏枝くさたに なつえ

水田の被害は田植え後にも

皆さん、田植えが終わってほっとしているかもしれませんが、田植え後に気を付けたいのが、苗の被害です。シカやヌートリアは水田の苗を食べます。せっかく防除をしても、シカにはイノシシ用の柵では高さが足りません。また、ヌートリアには地面から20センチの電線ではくぐられ、メッシュでは5センチ以上のマス目は通り抜けられてしまいます。水田用のため池がある地域では、ヌートリアの被害も増えつつあります。ヌートリアは水辺に営巣するからです。

平和町大下地区では、昨年からは集落で鳥獣対策の講習会を自主開催していました。イノシシとヌートリアの対策です。「ヌートリアが3匹おったで!」「田んぼの中に足跡もある」「大変じゃ、向かいの斜面が巣穴だらけじゃ」「こりゃ、1匹や2匹じゃないで」。

巣穴周りの刈り込みは大事です。暮らしにくくなれば動物は「引越し」します。しかし、言うは易く行は…。そう思ったとき、住民から「やろう!」という声があ

がりました。そして、実際に3時間かけて広いささやぶが刈り込まれました。

被害のリスクを放置しない

ヌートリアは外来種です。平和町大下地区では、集落で積極的に外来種の捕獲従事者の講習会に参加し、捕獲にも取り組んでいます。しかし、田んぼのすぐ目の前で次々と子が生まれれば、獲っても獲っても切りがありません。被害のもとを見つけたら、仲間と一緒に、すぐに改善を。それこそが一步先の活動です。人は被害に遭わなければ、なかなか行動しません。「予防」が習慣化するのには難しいのです。

刈り払った場所は広場としての活用も考えたいそうです。素敵ですわね!



多数の動物の痕跡が。放置しなごき集落で強引に刈り込まれた結果です。

問い合わせ

商工林業課 林業振興係
0824・73・1124